

玉作水神社

玉作は多末都久里と訓べし、和名鈔、部名駿河國駿河郡玉造、部名○祭神水神歟○駿河國駿東郡香貫村に在す、志例祭

神位

國內神階記云、從四位上玉作明神、

楊原神社 名神大

楊原は夜伎波良と訓べし○祭神大山祇命、相殿木花開耶姬、磐長姫、志○駿河國駿東郡香貫村に在す、今大宮、又松彦明神と稱す、同例祭 月 日、○式三、臨時名神祭二百八十五座、略中伊豆國楊原神社一座、

伊豆志に、相近キニ楊原ノ地名アリ、今訛テ八重原ト云フ、伊豆峰記ニ、三島大明神ト云ヘリ、中古マテ社人卅八人別當坊等アリ、今香貫兩村ノ總鎮守也、古簿ニ、豆州田賀方郡楊原明神并ニ神名ヲ配ス、今君澤郡三島驛楊原ニ楊原神社アリ、コハ元和九年香貫村ナルヲ遷シマツレル也、國圖には、三島驛に在すと云リ、○考證云、今日、伊豆權現在ニ走湯山、傍大柳樹ニ、今云、赤澤村地主亦如ニ朱砂、有ニ社伊豆權現社僧到、此修法、

神位

三代實錄、貞觀元年正月廿七日甲申、奉、授伊豆國從五位下楊原神從五位上、同十二年五月廿九日庚辰、詔授伊豆國從五位上楊原神正五位下、仁和二年十一月廿五日庚子、授伊豆國

預一本須に
作る

正五位下楊原神正五位上、國內神名配云、從一位楊原明神、國內神階記云、從一位やぎはらの明神、

○前件三社の今駿河國に隸する事は(以下缺文)

加理波夜須多那比波預命神社

加理波夜須は假字也、枕詞也、多那比波預も假字也、○祭神明か也○宇佐見村に在す、今賀茂郡に屬す、國例祭 月 日、

劔刀乎夜爾命神社

劔刀は都流支多知と訓べし、枕詞也、乎夜爾は假字也、○祭神明か也○君澤郡戸澤村に在す、今劔刀明神と稱す、志例祭

火牟須比命神社

火牟須比は假字也○祭神明か也○カマタ村に在す、今賀茂郡に屬す、國○日本紀神代卷上、一書曰、伊弉册尊生ニ火産靈ニ時、爲子所、焦而神退矣、○式九、國鎮火祭、云々、麻奈弟子爾火結神生給氏、美保止被燒氏、石隱坐氏、略下

考證云、今日、雷電宮、在伊豆權現上宮東傍、

白波之彌奈阿和命神社

白波之は志良奈美乃と訓べし、枕詞也、彌奈阿和は假字也、○祭神明か也○シケテラ村に在す、國例祭

波松釋法に
作る